

国会通信

茨城選出の議員

改ざん隠蔽批判  
首相に辞任迫る

民進・藤田氏

民進党の藤田幸久氏(参院茨城)は9日、参院決算委員会で質問に立ち、さまざまな公文書管理が相次いでいる状況を批判し、安倍晋三首相に対し、責任を取って辞任すべきだと迫った。

藤田氏は、学校法人「森友

学園」に関する財務省の決裁文書改ざん問題や防衛省の日報隠蔽問題について、国家犯罪だと厳しく批判した。その上で、「立法府の存在や民主主義、憲法を損ねた。法とルールに基づく国家の統治機構そのものを破壊した」と指摘し、結果責任を取るべきだと訴えた。

安倍首相は「徹底的な調査でうみを出し切り、組織を立て直すことが私の責任だ」と、全容解明と再発防止に取り組みことを強調し、辞任を否定した。